



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2020年(令和2年)4月15日号 No.1823

目次

■ 2019年のロシア・NIS諸国の経済(上)	1
■ キーパーソン	10
ウズベキスタンで経済発展・貧困削減省が設立／10	
■ 統計速報	11
2020年1～3月のロシアのブランド別乗用車販売台数／11	
■ 新型のコロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応	12
ROTOBOモスクワ事務所	
■ トピックス	38
OPECプラス、過去最大規模の減産で合意／38	
JALモスクワ便が5月末まで運休に／38	
カザフスタンで非常事態宣言期間が延長／38	
コーカサス諸国でも緊急事態宣言期間が延長／38	

2019年のロシア・NIS諸国の経済(上)

はじめに

『経済速報』では毎年この時期、前年のロシア・NIS諸国(旧ソ連の新独立諸国)の経済統計を紹介し、各国の最新の経済動向について論評するという企画をお届けしている。本年も2019年のデータがほぼ出揃ったので、早速それを試みたい。なお、モンゴルは一般的にはNISの範疇に入らないが、本レポートの対象に加えている。

まず今号では、全13カ国の主要経済指標を図表にまとめて掲載するとともに、ロシア・NIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説をお届けする。中央アジア諸国(カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン)、南コーカサス諸国(アゼルバイジャン、アルメニア、ジョージア)、モンゴルのレビューは次号で扱う予定である。各国レビューの執筆は当会ロシアNIS経済研究所のスタッフによるものであるが、ロシアについては本年も北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターの田畑伸一郎教授にご寄稿いただいた。

ロシア・NIS全般： まだら模様の成長と迫り来るコロナ危機

CIS統計委員会の発表によれば、2019年のCIS(ジョージア、モンゴルは含まれない)全体の成長率は、約2%とされている。しかし、各国の成長率には、かなりの開きがある。最大の経済規模を誇るロシアは1.3%の低成長であり、同国との関係がとりわけ深いベラルーシはそれをさらに下回る1.2%